

国語科学習指導案

学習者 附属小学校 1年3組 30名
指導者 大西 一豊

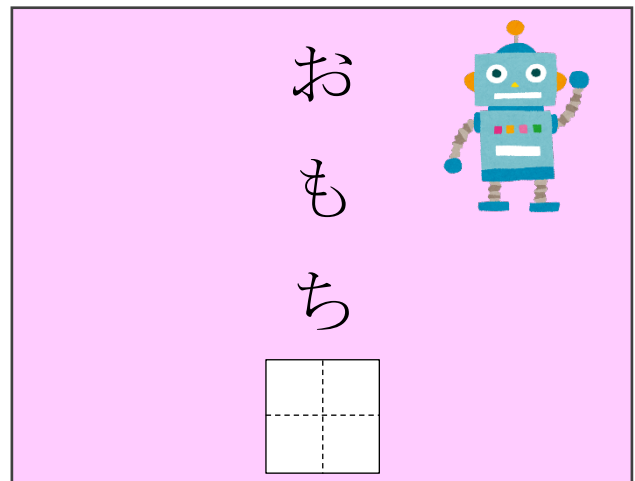
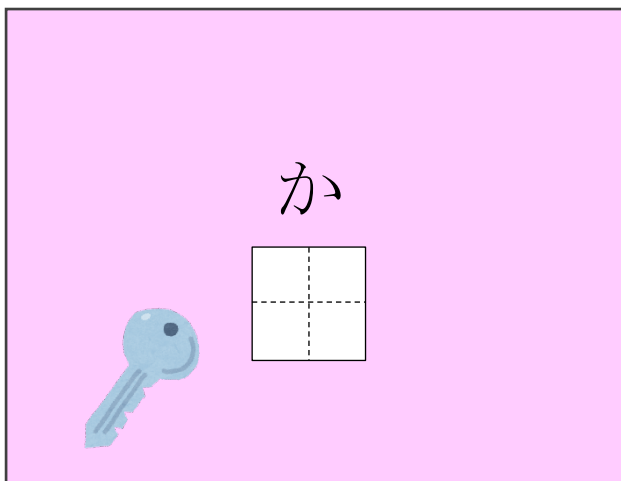
単元名 ひらがなくいずたいかいをしよう ～めざせ！ひらがなますたあ～

1. 単元の目標

平仮名の濁音、促音、拗音などの表記の仕方を理解し、読んだり書いたりして使うことを通して、言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、思いを伝え合おうとする態度を養うことができるようにする。

2. 言語活動

本単元は、資質・能力の定着を図るため「【知識及び技能】に関する配慮事項」の「まとめて単元化して指導する」ことを適用させた単元構想である。また、【思考力、判断力、表現力等】の評価規準はないが、単元を見通した言語活動として「ひらがなくいずたいかい」を位置付けた。なお、iPadの「ロイロノート」を活用して「ひらがなクイズ」を作成する。



3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 平仮名の濁音、長音、拗音、促音などの表記の仕方を理解し、読んだり書いたりして使っている。 【知 (1) ウ】		① 進んで、平仮名の文字と文字との続き方に注意しながら語のまとまりで書き表し、学習課題に沿って、表記の仕方を理解して使おうとしている。

4. 指導と評価の計画（8時間）

時	ねらい（◆）と主な学習活動（○）	評価規準〈評価方法〉 指導改善に生かす評価「・」 総括資料とするための記録に残す評価「○」		
		知・技	思・判・表	主体
1	◆これからの学習について、五十音表を書いたり五十音表を基にして作成した「ひらがなクイズ」をしたりすることを通して、単元の目的を理解し、主体的に学習に臨もうとすることができるようにする。			
	<p>○これまでのひらがなの学習をふり返り、全員で協力して五十音表を黒板に書く。</p> <p>○教師作成の五十音表を基にした「ひらがなクイズ」をする。</p> <p>○「ひらがなクイズ」に未習の濁音、長音、促音、拗音などが混ざっており、クイズが解けなかったことをきっかけに、平仮名の学習を続けることで平仮名の力をレベルアップしたいという目的意識をもち、意欲を高める。また、単元終末では、自分たちで「ひらがなクイズ」を作成したいという意欲を持ち、単元の大体的見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと平仮名の力がレベルアップしそうで嬉しいな。 ・みんながどんな「ひらがなクイズ」をつくるのか楽しみだ。 </div>	・①〈発言分析・行動分析・記録分析〉		・①〈発言分析・行動分析・記録分析〉 ※全時間随時
2 ・ 3	◆濁音と半濁音について、唱歌や提示された語を読んで濁音と半濁音の有無に気付いたり、濁音と半濁音を含む語を考えて集めたりすることを通して、表記の仕方を理解して読んだり書いたりすることができるようにする。			
	<p>○唱歌や提示された語を読んで濁音と半濁音の有無に気づき、全ての濁音と半濁音を確認する。その際、ノートに書くことで濁点と半濁点の書き方を知る。</p> <p>○濁音や半濁音を含む語を個人で考えてノートに書き、全体で出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ㇿ（てんてん）」と「ㇿ（まる）」のつく平仮名がたくさん分かったし、読めるようになって嬉しい。 ・「ㇿ（てんてん）」と「ㇿ（まる）」のつく平仮名をたくさん書くことができた。 </div>	・①〈発言分析・行動分析・記録分析〉		

並行読書



4 ・ 5	◆促音について、唱歌や提示された語を読んで促音の有無による読み方や表記の違いに気付いたり、促音を含む語を考えて集めたりすることを通して、表記の仕方を理解して読んだり書いたりすることができるようにする。			
	○唱歌や提示された語を読んで促音の有無による読み方や表記の違いに付き、拍の違いを話し合い、確認する。その際、ノートに書くことで促音の書き方を知る。 ○促音を含む語を個人で考えてノートに書き、全体で出し合う。	・①〈発言分析・行動分析・記録分析〉		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「っ (ちいさい「つ）」のつく平仮名がたくさん分かったし、読めるようになって嬉しい。 ・「っ (ちいさい「つ）」のつく平仮名をたくさん書くことができた。 </div>			
6 ・ 7	◆長音について、唱歌や提示された語を読んで長音の読み方や表記の違いに気付いたり、長音を含む語を考えて集めたりすることを通して、表記の仕方を理解して読んだり書いたりすることができるようにする。			
	○唱歌や提示された語を読んで長音の読み方や表記の違いに付き、拍の違いや特徴を話し合い、確認する。その際、ノートに書くことで長音の書き方を知る。 ○長音を含む語を個人で考えてノートに書き、全体で出し合う。	・①〈発言分析・行動分析・記録分析〉		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸ばす「あ」「い」「う」「え」「お」のつく平仮名がたくさん分かったし、読めるようになって嬉しい。 ・伸ばす「あ」「い」「う」「え」「お」のつく平仮名をたくさん書くことができた。 </div>			
8 ・ 9	◆拗音（拗長音、拗促音）について、唱歌や提示された語を読んで拗音の読み方や表記の違いに気付いたり、拗音を含む語を考えて集めたりすることを通して、表記の仕方を理解して読んだり書いたりすることができるようにする。			
	○唱歌や提示された語を読んで拗音の読み方や表記の違いに付き、拍の違いや特徴を話し合い、確認する。その際、ノートに書くことで長音の書き方を知る。 ○拗音を含む語を個人で考えてノートに書き、全体	・①〈発言分析・行動分析・記録分析〉		



	<p>で出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「や」「ゆ」「よ」（ちいさい「や」「ゆ」「よ）」のつく平仮名がたくさん分かったし、読めるようになって嬉しい。 ・「や」「ゆ」「よ」（ちいさい「や」「ゆ」「よ）」のつく平仮名をたくさん書くことができた。 </div>			
<p>10 (本時) ・ 11</p>	<p>◆濁音、促音、長音、拗音について、「ひらがなクイズ」を作成したり、友達の作成した「ひらがなクイズ」に答えたり、視点をもって振り返ったりすることを通して、表記の仕方を理解して読んだり書いたりすることができるようにする。</p> <p>○濁音、促音、長音、拗音などの語について、ロイロノートを使って「ひらがなクイズ」を作成する。その際に、書いた語のイラストも描く。</p> <p>○全員が安心して交流できるように困りや悩みを共有し、解決方法を考える。</p> <p>○作成した「ひらがなクイズ」が正しくできているかをペアや班で確認したり修正したりする。</p> <p>○「クイズづくりはどうだったか、学習したことを使えたか」の問いかけで振り返る。</p> <p>○全体で「ひらがなクイズ大会」を開催する。ロイロノートに提出したみんなの「ひらがなクイズ」を解き、作成者が全体の場で答え合わせをする。</p> <p>○「これまでに学習してきて、できるようになったことや分かるようになったこと」を視点に振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の作りたい「ひらがなクイズ」ができて嬉しいな。 ・「ひらがなクイズ」を作ることができたから、みんなとクイズ大会をすることが楽しみだ。 ・初めは分からなかったけど、今では読んだり書いたりできるようになった。 ・読んだり書いたりできるようになったから、これからも使っていきたい。 </div>	<p>○①〈発言分析・行動分析・記録分析〉</p>		<p>○①〈発言分析・行動分析・記録分析〉</p>

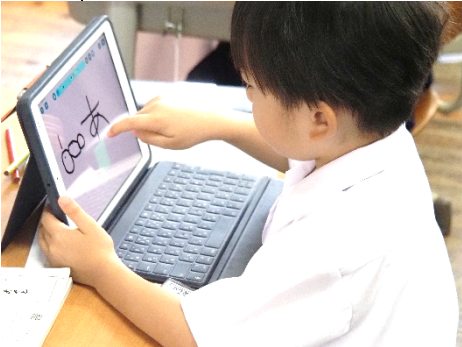
5.並行読書材

- ①さる・るるる ②もじのえほん あいうえお ③新レインボー にほんご絵じてん
- ④むしのあいうえお ⑤しりとりあそびえほん ⑥恐竜あいうえお ⑦ことばのえじてん
- ⑧こんにちワニ ⑨あいうえおおかみ ⑩ノラネコぐんだんあいうえお
- ⑪たべものやさんしりとりたいかいかいさいします ⑫ことばのえほん あいうえお

6. 本時の指導 (10/11)

<p>本時のねらい</p>	<p>濁音、促音、長音、拗音などについて、「ひらがなクイズ」を作成したり、お互いに見合っ て話し合ったりすることを通して、表記の仕方を理解して読んだり書いたりすることができ るようにする。</p>
<p>評価規準</p>	<p>濁音、促音、長音、拗音などについて、表記の仕方を理解して読んだり書いたりするこ とができている。</p>
<p>具体的な児童の姿</p>	<p>濁音、促音、長音、拗音などについて、表記の仕方を理解して読んだり書いたりしな がら「ひらがなクイズ」を作成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前は難しかったけど、「小さいやゆよ」に気を付けながら作ることができた。 ・みんなと学習したことを使って「伸ばすあいうえお」の「ひらがなクイズ」が作れ て嬉しい。 ・前の時間のノートを見ると書き方が分かった。次の時間にみんなと「ひらがなクイ ズ」をすることが楽しんだ。

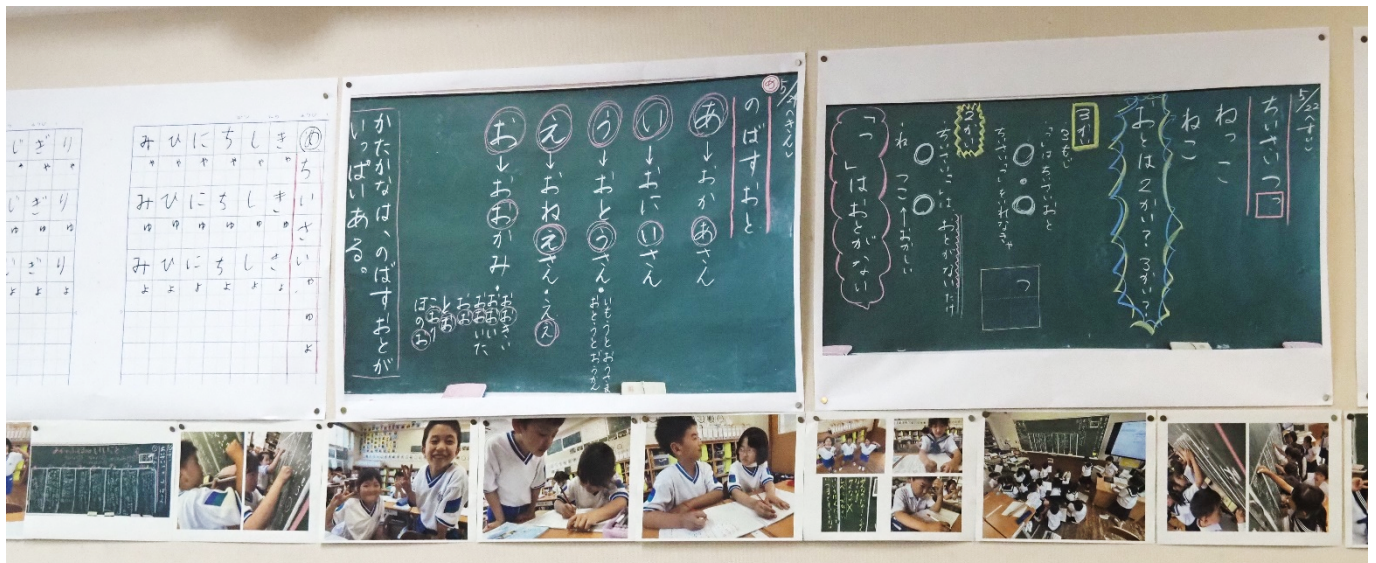
時間	児童の活動	指導○及び留意点・ ◎評価 (方法) ※支援を要する児童への手立て	準備物
5分	1. 本時のめあてを確認する。	○掲示物を使って学習の目的や前時までの内容を想起するようにしてから、本時のめあてを位置付ける。	単元のめあて 前時までの板書
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>めあて ひらがなくイズをつくろう。</p> </div>			
15分	2. ロイロノートにひらがなクイズを作成する。	<p>○これまでの学習を生かすことを促す。</p> <p>○「ひらがなクイズ」の作り方を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートの使い方を説明する際に、一緒に操作することを促す。 ・学習したことを生かすために、濁音、促音、長音、拗音についてそれぞれ一つずつ「ひらがなクイズ」を作成することとイラストを加えることを確認し、活動の見通しがもてるようにする。さらに、「ひらがなクイズ」の例を黒板に示す。 <p>※濁音、促音、長音、拗音などのそれぞれの語が思いつかない・考えられない児童がいる場合は、これまでの学習を振り返ったり、困りや悩みを出し合ったりして、解決に向かうような場の設定をする。</p>	iPad ひらがなクイズのシート
10分	3. ペアや班でお互いの「ひらがなクイズ」を見合い、確認したり修正したりする。	<p>○ペアや班でお互いの「ひらがなクイズ」を見合う必要があるかを問いかけた後、確認したり修正したりする交流の時間を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流する時間の必要感を全体で確かめることで、みんなで共通認識のもと授業が進んでいる感覚と 	



8分	4. 作成した「ひらがなクイズ」を提出する。	<p>活動への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝え合った際に「もう少し詳しく聞きたい」「理由がよく分からない」などの場合は、「相手に質問してみることに、質問に答えることで自分の考えがしっかりすること」などを確認し、交流のポイントとしておさえる。 <p>○ロイロノートで自分が作成した「ひらがなクイズ」を提出することを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・操作等で困っている児童の支援を随時行う。 	
7分	5. 本時を振り返る。	<p>○本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの視点として「クイズづくりはどうだったか、学習したことを使えたか」を伝える。 	

情報活用能力の育成について

○これまでに学習した「濁点、半濁点」「促音」「長音」「拗音」の学びの足跡を教室に掲示することで、既習を生かすことにつながった。また、ノートにたくさんの言葉を書き残す活動を行っていたので、該当のノートのページを開いて、これまでの学びを生かす姿も見られた。



○これまでの学習を生かした「ひらがなクイズ」を作成することから、学びを生かす必然性があり、意欲的に取り組む児童の姿が見られた。

▲教師が作成した「ひらがなクイズ」を画面に写したり全員に送信したりすることで、自分の「ひらがなクイズ」を作成するための手がかりにすることをねらった。しかし、時期的な発達段階から困難さがあったため、「濁点、半濁点」「促音」「長音」「拗音」のそれぞれの「ひらがなクイズ」を板書に示しておく必要性があった。